

「食の安全安心と食育審議会」における食育推進に関する主なご意見

【令和 4 年度 第 1 回審議会（令和 4 年 9 月 5 日）】

1 柱 1 「子どもとその親、若い世代を中心とした健全な食生活の実践」

- 大阪府での地場産物導入プロジェクトとして、栄養教諭との連携が紹介された。
- 保育園への管理栄養士・栄養士配置の実態を詳しく知りたい。
実際に食育に従事をしているか調べる方法を考えた方がよいのではないか。
- 実態調査は不十分かも知れないが、食育にしっかりと従事できるよう人材育成を進めることも必要だと考える。
- 人材育成には、既資格取得者たちの知識のブラッシュアップも含めた方がよい。

2 柱 3 「持続可能な食を支える食育活動の推進」

- 県産県消（地産地消）の推進について、学校給食への地域特産品の使用割合を増やすことはできないものか。
→なるべく地場特産品の給食利用ができるよう取り組んでいるが、限られた予算では、総じてブランド物で高価な地場特産品の取り入れが難しい。
- いずみ会活動では、認証食品をよく活用しているが、認証食品の表示マークはいつ変更されたのか。
→令和 2 年度より変更している。新しいロゴで引き続き活動をしてほしい。
- 料理教室で知事が鱧の骨切りを器用になされた。継続は力なり、魚食普及のための料理教室も進んでおり、11 月には全国豊かな海づくり大会が予定されている。